

一、次の文章をよく読んで、解答题紙一、の問いに答えなさい。

「人間は雑食の動物だ」などといったら、何を今さら当り前なことをとわ^aられるかもしれない。けれど最近、これはじつはかなり大事な話なのではないかとぼくは思うようになった。

人間はオオカミや虎^{とら}のように純粋^{じゆんすい}の肉食動物ではない。牛や馬のように純粋の草食動物でもない。肉も食べれば植物も食べ、魚やエビも食べれば果物やキノコも食べるといふ、まさに雑食の動物である。

かつてこのことを評して、人間は日和見主義^{ひよりみ}だと言った人もいる。何かに専門化することなく、そのときどきの状況^{じきうきやう}に応じて手に入るものを食べていくから、日和見主義だというのである。

たしかにそうだと言えるかもしれない。世界じゅうで人間は、ずいぶんいろいろなものを食べている。昔からその土地その土地で無理なく手に入るものを食べて生きのびてきた。

新大陸が発見されると、そこからもたらされたトウモロコシやジャガイモなどという、旧大陸の人々はまったく知らなかったものを、大量にしかもまったく当然のように食べるようになった。このように考えると、人間はいかにも行き当たりばったりの、いかげんな動物のように思えてくる。

(A) 動物たちは、それぞれが何を食うかに専門化しており、それに合った体をもっているものだ。同じ鳥でも、水草を食べている雁^{がん}や鴨^{かも}と肉食専門の猛禽^{もうきん}類とは、顔つきからしてちがうではないか！

純粋の肉食動物たちは、生きた動物を捕^とらえるために、牙^{きば}や爪^{つめ}やすばやい肢^{あし}などを進化させ、驚くべき狩^{おどろ}りのぎじゅつを身につけている。それでも獲物^{えもの}を手に入れるのは大変で、ときには何日も飢^うえに耐^たえねばならない。

そのかわり、いったん獲物にありついたら、自分の体重の何分の一という大量の生肉^{ひき}を貪^{むさ}り、肉^cとないぞうからすべての栄養を吸収してしまつて生きていく。生^dやさいや食後のフルーツなどというものはまったく不要である。

歯も消化器も、すべて肉食用にできている。鋭く尖^{とが}った歯が獲物の頑丈^{がんじやう}な体を引き裂^きき、肉食用の消化酵素^{こうそ}がそれを消化する。(B) 腸は短くてすみ、スリムな体はますます狩りに適したものとなる。

その一方、純粋な草食動物はまったくべつ^eのしくみが必要としている。骨などというもののない草や木があのように地上に立っていられるのは、細胞^{さいぼう}一個一個がしっかりした固い箱に収められているからだ。栄養になるタンパク質や脂肪^{しぼう}は、すべてこの箱の中に入っている。自由に伸び縮みする筋肉細胞で体を作り、それを骨で支えるという基本^eこうぞうの上にできている動物の体とはまったくちがうのだ。いふなれば植物¹と動物は、生きものの多様性¹のもつとも根本的な両極端^{きふくたん}を示す存在なのである。植物を食べて生きていく草食動物は、この細胞壁^{さいぼう}の固い箱をこわして、中の栄養をとり出さねばならない。

そのためには鋭く尖った歯ではなく、細胞の箱を擦^すりつぶす平たい臼歯^{きゆうし}が必要である。(C) それでも十分ではない。丈夫な筋肉を備えた胃で細胞壁をしつこくこわさねばならない。そのための消化酵素も必要である。牛などのように胃で共生微生物^{びせいぶつ}を「培養^{ばいよう}」し、長時間かけて「反芻^{はんそう}」したり発酵^{はっこう}させたりという大変な手数をかけて草の栄養分をとり出しているものも多い。大きな胃や長い腸が必要になり、それが草食動物の体型を肉食動物とは著しくちがったものにした。

ただし草は逃^にげたりしないから、獲物³を捕らえるためのぎじゅつを進化させる必要はなかった。そのかわり、栄養にならぬ部分の多い植物は大量に食べねば生きていけないから、草食動物の多くは一日の大半を食うのに費やしている。

5 (D) 雑食はどうだろう？ 雑食はもつといいかげんに、日和見的でいいのだろうか？

ちよつと考えてみれば、そうではないことがすぐにわかる。

その時その時の状況に応じて肉も食い、草も食うというためには、鋭く噛^かみ切る歯と、擦りつぶし用の平たい歯の両方が必要になる。雑食で生きていこうとすればその両方を揃^{そろ}えねばならなかった。いうまでもなく、歯は上下のあごが噛みあってこそ役目をはた^fす。尖った歯と平たい歯がばらばらに生えていても意味はない。人間の口にはそれがじつにうまい具合に順番に並んでいる。このようなものができるのは大変なことであつたらう。

肉も食べ、草も食べ、果実も食べ、キノコも食べということになると、胃も大変である。肉を消化させる肉専用の **ア** も必要だし、草をすりつぶすことも必要である。 **イ** にてまと時間のかかる植物食への対応には、

ウ も必要である。 **エ** 食のためには必要のない発酵 **h** そうちも要るだろう。

そういうものをみな揃えるには、肉食動物のしかけと草食動物のしかけを両方とも、しかも程よい割合で、程よい順番に並べていかねばならない。それは大変なことであつたらう。

人間の直接の **い** **せん** は類人猿である。森に住んでいた大型類人猿は、本来は草食動物であつた。しかし彼らは牛などのように徹底して草ばかり食うのではなく、木の葉も食い、植物の **め** も食べ、果実も食べ、たまたま出会った虫も食うという、いわば雑食的な食べかたをしていた。人間の体の雑食的なしかけは **この基礎の上にできあがってきた** のだろう。

類人猿の中でもチンパンジーはかなりの肉食をする。このことが人間の雑食性をさらに進めることになったのである。

そして人間が森から開けた平地に出ていったとき、人間はこの雑食性のおかげで生きのびられた。そこは森のようにやさしい場所ではなかったからである。

人間は純粹の肉食動物ではないし、純粹の草食動物ではない。だからといってそのどちらでもない雑食で **ごまかしている** というのでもない。体のしかけから考えてもわかるとおり、人間は純粹の雑食動物として **できあがった** のだ。

(E) 人間は、日和見的な雑食なのではない。多様なものから必要な栄養を少しずつ、しかも効率よく **摂取** していくことによって生きていく動物なのである。

人間のこの雑食性というこの大切さを忘れてはならないと思う。それはこれが単に人間の食文化とかの問題ではなく、人類生存に **関わる根本的な問題** だからである。

(日高敏隆『セミたちと温暖化』)

二、次の文で表現に誤りがあるものにはその部分の記号(一つだけ)を、誤りがないものには○を書きなさい(答は解答用紙に書くこと)。

- ① 野球ならば、少しは **ア** 手に覚えが **ウ** あります。
- ② 目から **イ** 火が **ア** 出るほど **イ** はずかしかった。
- ③ あの選手は **ア** 今季で **イ** 現役から **ウ** 手をひくことに **イ** したようだ。
- ④ この店の **ア** ラーメンの **イ** 味は **ウ** いま一つだ。
- ⑤ これは **ア** とても **イ** てまの **ウ** やける **イ** 仕事だ。
- ⑥ あなたが **ア** なにげなしに **イ** 言った **ウ** 一言に **イ** 私は **ウ** 傷ついた。

三、() に最も適当なことを入れ、上の二つと同じような語の組み合わせを作りなさい(答は解答用紙に書くこと)。

- | | | | | |
|--------|------|-------|--------|-------|
| ① 猫 | 小判 | 豚 | 真珠 | 馬の耳 |
| ② ご飯 | 膳 | 寿司 | 貫 | 豆腐 |
| ③ 言う | もうす | 食べる | いただく | 訪ねる |
| ④ 伝える | 伝わる | 流す | 流れる | 改める |
| ⑤ はやい | すばやい | あたらしい | まあたらしい | にくらしい |
| ⑥ すやすや | 眠る | しとしと | 降る | てかてか |
| ⑦ 拡大 | 縮小 | 成功 | 失敗 | 保守 |
- *「する」以外

※この用紙には受験番号と解答以外は一切書いてはいけません。

一、別紙一、の文章をよく読んで、次の問いに答えなさい。

① — a ～ j の部分を漢字に直しなさい(送り仮名が必要なものはそれも書くこと)。

a () () b () () c () () d () () e () ()

f () () g () () h () () i () () j () ()

② (A) () (E) () に入る最も適切なことばを次の中から選んで、記号を書きなさい(同じ記号は二度以上使いません)。

アでは イけれど ウだから エつまり オそもそも カなぜなら

A () B () C () D () E ()

③ [ア] [エ] に入る最も適切なことばを、それぞれ文中から二字、二字、三字、一字ぬき出して答えなさい。

ア [] [] イ [] [] ウ [] [] エ []

④ — 1、「植物と動物」それぞれのつくりのちがいを、文中のことばをぬき出して答えなさい。

植物 ()

動物 ()

⑤ — 2、肉食動物はどのような体型をしていますか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

() ()

⑥ — 3、草食動物とはちがい、肉食動物が獲物を捕らえるぎじゅつを進化させる必要があったのはなぜですか。文中から十字ぬき出して答えなさい。

[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] から。

⑦ — 4、「日和見的」な雑食とは、どのような食べ方を指していますか。文中から十字ぬき出して答えなさい。

[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] 食べ方。

⑧ — 5、人間の体がどのようなになっているところをみてこう言っていますか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

() ()

⑨ — 6は何を指していますか。できるだけ文中のことばを使って答えなさい。

() ()

⑩ — 7、どのような点で「森」は「やさしい場所」だったのですか。

() ()

⑪ — 8、このことと同じような意味で用いられていることばを、文中から七字ぬき出して答えなさい。

[] [] [] [] [] [] []

⑫ — 9は、どのように生きていく動物だと言っていますか。文中のことばをぬき出して答えなさい。

() ()

⑬ — 10、筆者はどんな事実にもとづいて、雑食性が「人類生存に関わる根本的な問題」だと言っていますか。文中のことばをぬき出して答えなさい。

() ()

二、① () () ② () () ③ () () ④ () () ⑤ () () ⑥ () ()

三、① () () ② () () ③ () () ④ () ()

⑤ () () ⑥ () () ⑦ () ()